



島教協

《すべては「子供たちのために」》

情 報

http://
www.kyougikai.orgE-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 石原康博 編集人 吉田 修

No.617

年頭所感

夢と活力ある教育現場をめざして

会長 石原康博

新年あけましておめでとうございます。旧年中に会員の皆様からいただいた組織への御支援、御厚情に深く感謝申し上げますとともに、新しい年の門出にあたり、ひとこと御挨拶申し上げます。

さて、長く続く不況は、私たちの生活に暗い影を落とし、この先どうなるのだろうかという閉塞感が漂っています。学校現場では、新型インフルエンザが流行し、学級閉鎖が相次ぎました。そのため、授業時数の確保のため冬期休業の日数を減らしたり、終業式の日にも授業が行われるという、いつもとは違う2学期の終わりとなりました。浜田市で起こった大学生遺棄事件は今も未解決のまま、昨年は何かと暗いニュースの多い年であったように感じます。

そんな中、WBCで日本の野球が2連覇を果たしました。大リーグでは、マリナーズのイチロー選手が大リーグ史上初となる9年連続200安打を達成し、守備の名手に贈られるゴールドグラブ賞受賞の記録を9年連続に伸ばしました。6月にアメリカで開かれた「第13回バン・クライバーン国際ピアノコンクール」では全員のピアニスト、辻井伸行さんが優勝。11月の若手チェリストの登竜門「ロストロポフ・コンクール」では、宮田大さんが優勝をし、日本人の若手演奏家が世界の舞台で活躍し、私たちに夢と希望を与えてくれました。

政局に目を向けると、民主党に政権が交代し、政治主導による舵取りに大きく方向が転換されました。来年度政府予算案を見てみると、特に教育関係では、党のマニフェストに従って導入が表明された子ども手当は、中学校卒業までの子どもに月13000円が一律支給される見通しです。また、低所得の母子家庭に支給されている児童扶養手当を、8月から父子家庭にも支給する方向で動いています。高校無償化の実現に向けて3933億円が予算計上され、7年ぶりに公立小中学校と特別支援学校の

教職員定数が300人純増される見通しです。しかし、これらは財源不足のため、過去最高44兆3030億円の新規国債に頼った厳しい状況となっております。

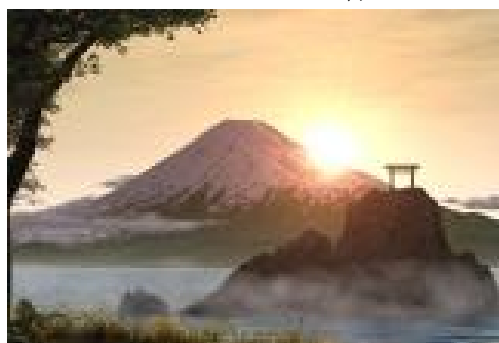
様々なメディアが取り上げた事業仕分けでは、義務教育費国庫負担が見直しとされました。全国学力テストと全国体力テストは、全員参加方式から抽出方式にかえて実施される予定です。そして、今年度から本格実施がスタートした教員免許更新制は、早くも廃止の方向で検討がなされています。

このように私たちを取り巻く環境は、めまぐるしく変化し、ほんの少し先も見通せない状態です。ただ、こういふときだからこそ、子どもには夢や希望が持てるようにしてあげたいと思うのです。そのために、日々の生活の中で、いつの時代も変わらない「命の大切さ」「素直さ」「ひたむきさ」を教えていかなければならないのです。「自律するための学力」をつけていかなければならないのです。

子どもたちにとつての最大の教育環境は、教職員であるといわれます。私たち教職員自身が常に健全な心身で子ども達に接するとともに、安心して職務に専念できる勤務環境が整備されていることが必要なのです。

昨年11月に、島教協のシンクタンクである島根県教育文化研究所を主管とし、出雲市を会場として教育シンポジウムを開催いたしました。多くの方々に御参加いただくことができ、本当に感謝いたしております。ありがとうございます。そして、島教協は今年、結成50年を迎えます。大きな一つの節目を迎えるにあたり、「子どもたちのために」という結成当初からの理念を再確認するとともに、今後とも、会員と社会のニーズにあつた要望・提言活動を行ってまいりたいと思っております。安達利幸前会長は、以前こうおっしゃいました。「職に誠意をもってあたればあたるほど、日々様々な困難に直面します。それを独りで解決しようとするのはたいへんな負担が伴います。それぞれの勤務先の同僚だけではなく、島教協会員みんなで知恵を出し合い、力を結集して課題解決を図っていきましょう。力をお貸しせんか。」どうか、会員の皆様のお力をお貸しください。

今年一年も皆様が健康に留意され、それぞれの立場で大いに御活躍されますよう心から祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



人事異動申し入れ 実施中

会員の皆様には、2学期末のお忙しい中、人事異動調査書の提出にご協力いただき、ありがとうございました。昨年末より、関係諸機関に申し入れ活動を行っています。

第1期申し入れ

12月～1月上旬

適正な人事異動が行われるよう、会長名で文書を作成し、島教協でまとめた会員の人事異動調査書とともに関係諸機関に提出し、異動希望者については、一人一人各教育事務所や教育委員会教育長等に申し入れを行いました。

12 / 21月	奥出雲町教育委員会	教育長に直接申し入れ	〃
12 / 22火	雲南市教育委員会	統括官と学校教育課長	〃
12 / 24木	斐川町教育委員会	教育長	〃
	大田市教育委員会	教育長	〃
	出雲市教育委員会	学校教育課長	〃
	出雲教育事務所	所長と調整監	〃
12 / 25金	松江教育委員会	教職員課長	〃
	松江教育事務所	所長と調整監	〃
	島根県教育委員会	義務教育課企画人事GL	〃
1 / 13水	浜田教育事務所	所長と調整監	〃
	益田教育事務所	所長と調整監	〃

これ以外にも、各市町村教育委員会に申し入れを継続中

第2期申し入れ 2月下旬

関係諸機関の人事異動担当者に会い、現時点での状況の確認と把握に努めます。しかし、近年は個人情報に関して取扱が非常に厳しくなっており、なかなか情報が得られないのが現状です。

教員免許更新制について

今年度から本格実施となっている教員免許更新制ですが、現在見直しが進められています。

新聞では「廃止」の文字が大きく躍っていました。正確には「廃止を含めた抜本的見直し」です。「教員免許法」はまだ改正されていませんので、現在免許更新の対象となつていない教員は、きちんと更新しなければ、失職につながります。

今後どのような論議が国会でされるのか、その内容や審議のスケジュールなど、できるだけ情報収集に努めて、会員の皆様に伝えていきたいと考えています。

また、教員免許更新制に代わるものとして打ち出された、「教員養成課程の6年制化」にも多くの問題があります。

- ①採用が少なく、給料カットの続く上に6年制という負担が加われば、教職の志望者の減少につながる。
- ②1年間の教育実習は受け入れ先の学校の負担が非常に大きい。
- ③受け皿として期待されている「教職大学院」の定員数は、求められる教員の人数に対して著しく足りないもので、現状では受け入れは難しい。

などです。島教協は全日教連と連携して、既に受講された方に不利益がないように、またこの制度が何よりも子ども達にとってメリットのあるものとなるように、今後とも要望・提言をしていきます。

日本教師中華民国訪問研修

今年度で第25回となる日本教師中華民国訪問研修が1月4日から10日までの日程で行われました。島教協からは勝部富士子教諭（塩冶小）と事務局長が参加しました。

台湾の文科省・外務省や教育団体「救国団」の本部への表敬訪問の後、小学校2校、中学校1校、高校1校、私立の小中一貫校1校への訪問を行いました。

台湾は非常に規模が大きい学校が多く、訪問した小学校は各学年13クラス前後、全校2700名でしたが、これくらいは台湾では普通の規模のようです。学校運営はほぼ校長に一任されています。教員は国から給与を支給されますが、所属する学校の採用です。各学校毎に教育課程に特色があり、外国語教育には力を入れています。また、家长会（PTA）が公費で賄えない運営費や建設費を惜しみなく出資していることが伺えました。そして、私立の小中一貫校の設備のもの凄さは、言葉になりませんでした。熱気溢れる台湾は今後ますます伸びると感じました。